



高齢者と若者の  
「共住」で  
京田辺の良さと  
文化を身近に

京田辺ソリデール事業

# ソリデール する京田辺

※ソリデールはフランス語で「連帯」という意味



 京田辺市

KYOTANABE CITY 便利でええやん!京田辺!

## 「京田辺ソリデール事業」とは

高齢者と若者が同居し京田辺の良さを知ってもらい、若者の定住促進等を進める取り組みとして京田辺市とマッチング事業者が連携して実施する事業です。

同じような取り組みはヨーロッパで始まり、フランスでは、パリのボランティア団体「パリソリデール」などが数千組のマッチングを実施、また京都府は平成28年度より京都市や府内で実施。これまでに30組以上のマッチングが成立(令和2年3月末現在)、同居した実績があります。

高齢者が若者に自宅の一室を低家賃で提供する代わりに、若者はお年寄りの心の支えになるような同居について、マッチングを実施しています。

## 京田辺ソリデールって何?

京都ソリデール事業での実例から

### 空いている部屋を有効活用

Yさんは夫、義母、長男長女と5人暮らしでした。その後、子どもたちはそれぞれ独立して家を離れ、夫と義母も亡くなり、一人暮らしに。家族で住んでいた2階建て住宅、Yさんが普段使うのは一階の自室(寝室)とリビングだけです。空いている部屋を有効に活用したいと思っていたところに京都府が始めた「ソリデール」を知りました。一緒に住み始めたTさんは、福祉を学ぶ男子大学生。遠距離通学に疲れていたTさんにとって大学の近くに住めることは、経済的にも勉学の上にも助かります。

### 対等な関係で助け合う

同居を始める前に「お試し同居」で一緒に生活を体験。相性が合いそうだと分かれば、それから本格同居を始めます。最初は少し気を使うこともありますが、お互いに干渉しすぎないのがコツです。YさんとTさんの場合も、お互いに同居生活のルールは特に設けていません。生活リズムが違うので、顔を合わせない日もあります。それでも顔を合わせれば、自宅の掃除やスマートフォンの使い方など、ちょっとした相談や世間話はします。生活していくうちにうまく距離感がつかめれば、お互いに頼りになる存在に。

### 地域の良さを知ってほしい

時間のできたTさんは、Yさんから近くの行事や近所の名所を聞いて出かけることもあります。余裕ができた時間で、今は大学のゼミ活動にも参加。アルバイトをかねて、大学の近くの福祉施設で働き始めました。自分の住んでいる地域の良さを少しずつ感じ始めているところです。通学するだけではわからなかった地域の身近な出来事。地元で長年住むYさんと一緒に住んでいるからこそわかることがたくさんあります。

### 京田辺の良さを伝える

京田辺市は、京都・大阪・奈良の間に位置し、優れた交通利便性と豊かな自然があふれるまち。古くは筒城宮が遷都された地として、多彩な伝統行事や文化を現代に引き継ぎ、同志社大学・同志社女子大学や多種多様な企業など、最先端の科学技術を誇る関西文化学術研究都市の一翼を担うまちでもあります。「京田辺ソリデール」は、若者に京田辺の良さを実感してもらう新しい取り組みです。

京田辺市建設部開発指導課

問合せ先

TEL 0774-64-1341

E-MAIL [kaihatsu@city.kyotanabe.lg.jp](mailto:kaihatsu@city.kyotanabe.lg.jp)



# 京田辺市民の暮らしと想い

(「令和元年度京田辺ソリデール高齢者ニーズ等調査業務報告書」より)

## 聞いてみよう！ その疑問



# ソリデール Q&A

**Q** 毎月の家賃はいくらですか？

**A** 京都ソリデール事業の例では、概ね2万5千円から3万円(光熱水費を含む場合、プラスして実費負担)というものが多いです。

**Q** 契約は年単位ですか？

**A** 両者で契約期間を自由に決めてもらい、それを契約書に書き込みます(「定期賃貸借」)。契約自体は、高齢者と若者が契約当事者となって「契約書」を交わします。  
契約を結ぶためのお手伝い、契約書の雛形(モデル例)や内容の確認手続きなどはマッチング事業者がサポートします。

**Q** 暮らしてみても相性が良くないと思った時は契約を解除できますか？

**A** 契約書の雛形(モデル例)では、契約のなかで解除についての取り決めをしています。貸主(高齢者)から借主(若者)に対しては賃料の不払いなどを理由に、また借主(若者)は解約申入れをして1か月分の賃料を貸主(高齢者)に支払うことで契約解除が可能としています。  
いずれもマッチング事業者がサポートして話し合いによって問題を解決します。

### 貸主(高齢者)から借主(若者)に契約を解除する例

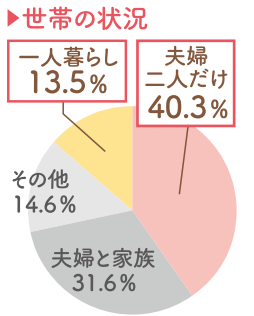
- 賃料等を支払わなかった場合
- 借主が(契約書記載の)ルールに違反した場合
- 入居申込みの際に虚偽の申し出をしたと認められた場合
- 借主の行為が共同生活の秩序を著しく乱すもの、または近隣に著しく迷惑をかけるものと認められた場合

**Q** 相性は どうやってわかりますか？

**A** できるだけ「お試し同居」をお勧めしています。  
マッチング事業者が事前にご本人の了解を得て、聞き取った内容を、それぞれにお伝えして、何度か会って話をしてもらいます。  
その上で2、3日から1週間程度の「お試し同居」を経験していただき、その先も同居できそうだと判断できてから契約の話を進めます。

## 半数以上が「一人」あるいは「夫婦二人だけ」の暮らし

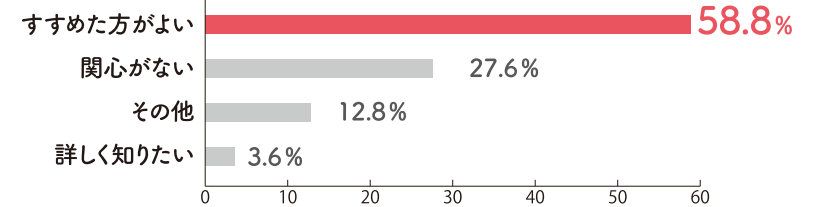
回答者のほとんど(93.5%)が一戸建ての持ち家に住みながら、その半数以上(53.8%)が「一人暮らし」あるいは「夫婦二人だけ」で生活しています。  
また多くが高齢化による身体的機能の衰えに不安を感じ、災害時の不安を持ち、町内の役務などに負担を感じながら、住居の維持、生活への援助を求め、気軽に相談できる場所やサポートを求めていることもわかりました。



## ソリデール事業に好印象

京田辺ソリデール事業の印象について「高齢者の不安や若者の負担軽減などにつながるのですめた方がよいと思う」と答えた人は58.8%に及びました。

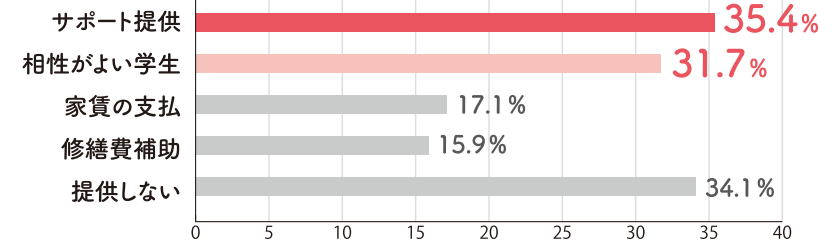
### ▶事業に対する印象



## 信頼できるサポートが欲しい

京田辺ソリデール事業に「空き部屋」を提供する条件として「信頼できる人がサポートしてくれるなら提供してもよい」が全体の35.4%で最も多く、仲介者(マッチング事業者また事業主体となる京田辺市)への期待と信頼を示しました。

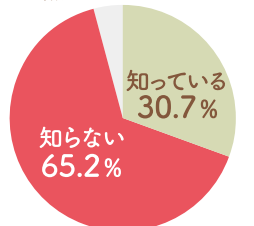
### ▶提供条件



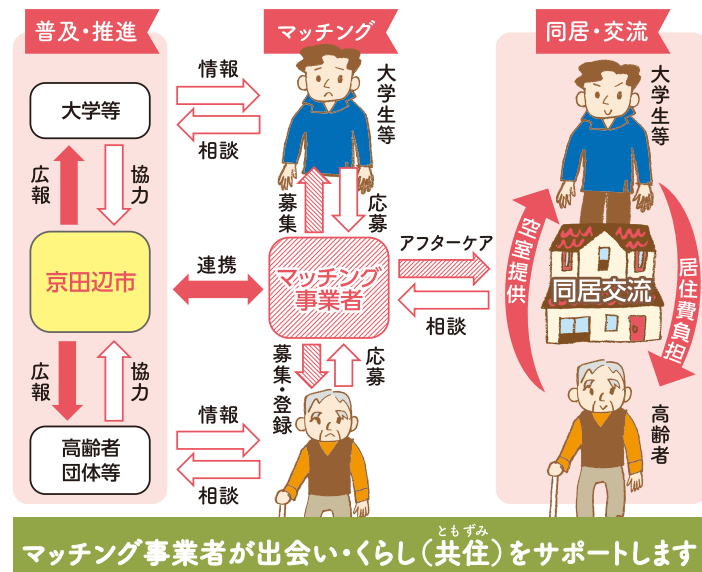
## 「異世代同居」(ソリデール事業)を知らない

回答者の65.2%が、「京都ソリデール事業」のような「異世代同居」についてまだ知らない現状があり、引き続き「京田辺ソリデール事業」を進める上で同事業の周知や理解の場が必要なこともわかりました。

### ▶事業認知度



## 京田辺ソリデール事業の仕組み



### こんな住まい方です

朝夕のあいさつや、リビングでも時に地域の行事と一緒に参加して、地域の良さを知ってもらおう。大学生等と地域をつなぐことを大切にしたい住まい方です。

### 「下宿」との違い

- ① 交流会、個別面談などで気の合った若者と、
- ② 自分たちに合った同居のルールを決める(食事の提供は無くても良い)、
- ③ 高齢者は収益を目的としていない、
- ④ 同居後もマッチング事業者がアフターケアをします。

## 手続き等の流れ(例)

